



生糸の出荷の様子（大正時代）

◆陸羽東線と共に 鈴木弘一郎さん（古川地域）

当時、米屋製糸工場（現在の大崎市民病院本院周辺）では、製造した生糸をアメリカに輸出するため、何台もの荷車で陸前古川駅に運んだそうです。荷車が長い列を成し駅に向かう様子は、祭りのようだったと工場を営んでいた祖父や父から聞きました。



私は太平洋戦争中は学生として仙台に通うため、戦後は上京し呉服などの仕入れのために利用しました。陸羽東線は祖父と父、私の三代にわたり製糸工場や呉服業の経営には切り離せないものでした。まさに陸羽東線 100 年の歴史は我が家の 100 年史でもあります。



大正時代の岩出山駅前には人力車が止まっており、汽車が着くとお客さんに乗せ街まで運びました。

※参考文献：「古川市史」、「岩出山町史」

# 東北に活気を運んで 陸羽東線 100 年

☆  
**ぴかいち**

人、物、技、場所などを選び出して紹介するコーナー「ぴかいち」



昭和 16 年 1 月 15 日古川駅(当時は陸前古川駅)駅舎が改築された落成記念式典の様子

写真提供：鈴木弘一郎さん（古川地域）

「大正」デモクラシー」が芽生え、地方でも西欧文化を積極的に取り入れようとした大正二年四月二十日、待望の陸羽東線小牛田〜岩出山間が開通しました。

それまでは、線路の上を走る車を馬が引く馬車鉄道でしたが、陸羽東線が開通したことで、同時に古川駅、岩出山駅も整備され、近代的な交通システムに生まれ変わりました。

当時は「蒸気機関車の煙で稲が枯れる」「灰で桑が枯れる」「火の粉で火事になる」など、今では考えられないような問題があり、駅は町の中心地から離れた人気のない水田地帯に建てられました。

大正時代を代表する言葉「今日は帝劇明日は三越」というように、百貨店の登場と共に消費時代が到来したと言われています。さまざまな会社や商店が創業し、鉄鋼や造船などの製造関係よりも繊維関係の需要が多く求められた時代です。

陸羽東線の開通により、古川駅には東京から流行の反物などが運ばれました。当時は、

呉服店の番頭さんたちが荷物の名札を見てライバル店の状況を偵察するほど駅は活気にあふれていました。

古川地域七日町、十日町、台町などには、呉服店が数多く軒を連ね、駅に到着した積み荷は荷車を引いて各店まで運びました。

また、岩出山駅では、開業後、周辺に家が建ち始め、街並みが整備されました。駅周辺の地名は「東川原」と呼ばれていましたが、縁起がよい町名にして発展させたいと大正十五年に「寿町」と名付けました。さらに青年団の人たちが互市を計画し、陸羽東線を利用して明治四十三年から開催されている鹿島台互市などを視察し、昭和二年九月に開催しました。

これが春と秋の年二回行われている岩出山互市の始まりで、現在も多くの人を訪れる岩出山地域の風物詩です。

陸羽東線は大正、昭和、平成と激動の時代を通し、時代と共に変わりゆく「まち」の姿を見守り続けてきました。

これからも、多くの皆さんに利用されることでしょう。

「大正」デモクラシー」が芽生え、地方でも西欧文化を積極的に取り入れようとした大正二年四月二十日、待望の陸羽東線小牛田〜岩出山間が開通しました。

それまでは、線路の上を走る車を馬が引く馬車鉄道でしたが、陸羽東線が開通したことで、同時に古川駅、岩出山駅も整備され、近代的な交通システムに生まれ変わりました。

当時は「蒸気機関車の煙で稲が枯れる」「灰で桑が枯れる」「火の粉で火事になる」など、今では考えられないような問題があり、駅は町の中心地から離れた人気のない水田地帯に建てられました。

大正時代を代表する言葉「今日は帝劇明日は三越」というように、百貨店の登場と共に消費時代が到来したと言われています。さまざまな会社や商店が創業し、鉄鋼や造船などの製造関係よりも繊維関係の需要が多く求められた時代です。

陸羽東線の開通により、古川駅には東京から流行の反物などが運ばれました。当時は、

呉服店の番頭さんたちが荷物の名札を見てライバル店の状況を偵察するほど駅は活気にあふれていました。

古川地域七日町、十日町、台町などには、呉服店が数多く軒を連ね、駅に到着した積み荷は荷車を引いて各店まで運びました。

また、岩出山駅では、開業後、周辺に家が建ち始め、街並みが整備されました。駅周辺の地名は「東川原」と呼ばれていましたが、縁起がよい町名にして発展させたいと大正十五年に「寿町」と名付けました。さらに青年団の人たちが互市を計画し、陸羽東線を利用して明治四十三年から開催されている鹿島台互市などを視察し、昭和二年九月に開催しました。

これが春と秋の年二回行われている岩出山互市の始まりで、現在も多くの人を訪れる岩出山地域の風物詩です。

陸羽東線は大正、昭和、平成と激動の時代を通し、時代と共に変わりゆく「まち」の姿を見守り続けてきました。

これからも、多くの皆さんに利用されることでしょう。

あらゆる建設関連職種従事者の国民健康保険 広告

1人親方・個人事業所(5人未満)

- 健康保険料本人月額 14,100 円 (35 歳未満 8,400 円)
- 介護保険料 1 人 2,000 円 ●家族一人あたり 3,500 円
- 6人以上免除(但し、20歳以上65歳未満 男性8,000円 女性4,500円)
- 特定健診無料 / 傷病手当金他手厚い給付

まずはお電話を下さい！  
0229-23-7390

**古川建設業組合**  
宮城県建設業国民健康保険組合

そろそろ「お葬式」のこと相談してみようか…。 広告

お葬儀の事前相談 承ります(無料)。

あの時、あの場所、あの人の思い出を…

**ハートホール 溪雲**

大崎市古川北町1-9-5 TEL・0229-23-4040  
「ハートホール」検索 http://www.hearthall.com

0120-342423 365日 24時間 対応いたします。

古川土地ビル

アパマンショップ全国ネットワークで理想のお部屋へナビします

**アパマンショップ古川駅前店**

宅地建物取引業:宮城県知事免許(12)1000号(社)宮城県宅地建物取引業協会会員(全)全国宅地建物取引業保証協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟  
http://www.yoitochi.com 〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

**株式会社 古川土地** TEL.0229-23-8484  
FURUKAWA-TOCHI 0120-2-8484-2(携帯・PHSも通話可)

創業 昭和47年 不動産と建設の総合力で地域に貢献いたします。